

さいとう淳一郎の日々の街頭演説を、紙上でお伝えしています。

次の世代のために・・・

“子どもや孫たちが帰ってくるまちづくり”を目指して  
栃木県議会議員

さいとう淳一郎街頭演説レター

第 28 号

発行日 平成 27 年 10 月 1 日

発行者 栃木県議会議員

さいとう淳一郎

〒329-2136 矢板市東町 3006-3

## 農業農村整備事業を着実に推進しよう！

農業農村整備事業は、農業生産基盤の整備のみならず、自然環境や景観の保全、さらには洪水防止等の多面的機能を維持するためにも欠くことのできない事業です。

しかし、国の予算規模は平成 22 年度以降大幅に削減され、現政権においても、例えば農山漁村地域整備交付金の、本年度の県当初予算に対する充足率が 56%程度に止まっているなど、計画していた事業の進捗に大きな支障を来たしております。

矢板市でも現在、この農山漁村地域整備交付金を用いた中山間地域総合整備事業（箇所名：高原地区）という事業が実施されておりますが、国から十分な予算が手当てされていない中で、この事業で整備予定の倉掛地内の出川という農業用排水路が、先日の関東・東北豪雨によって溢れ、収穫間近の稲が冠水してしまったということがございました。

県議会では本年 3 月、国に対する予算確保のための意見書を、全会一致で採択しておりますが、県においても今後、必要な予算確保の取組を一層強化していかなくてはなりません。

また、農業農村整備事業は、洪水防止等の多面的機能を維持するためにも重要な事業でございますので、県においては、必要な予算確保に取り組んでいただくとともに、県内における交付金等の配分にあたっては、そういった点を十分配慮することが望まれます。